

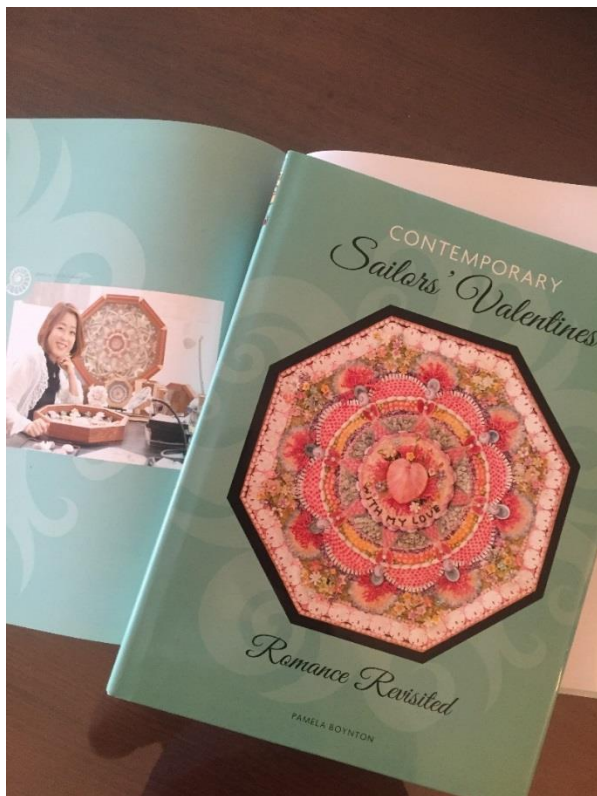
ケープコッドシェルショー活動報告

2016年7月15日、16日、マサチューセッツ州ケープコッドで昨年度からスタートした「ケープコッドシェルショー」がダブルツリーヒルトンホテルで開催されました、「セーラーズバレンタイン」とはアメリカ東海岸やカリブ海で1800年代から伝わる羅針盤を元とする八角形のフレームに貝殻を敷き詰めて造る繊細なシェルアートです。

そんなアメリカ最古の由緒ある伝統シェルアートのシェルショーに於いてこの度、唯一人のアジア人女性アーティスト飯室はつえが大活躍しました。

アジア人、唯一のプロアーティストとして、また今年の2月にフロリダで開催されたアメリカで最も権威のある「サニベルシェルショー第79回大会」にて「**Best in Show**（大会最優秀賞）」を受賞したばかりのタイミングで、現地では今や知らない人はいない存在のアーティストとして迎え入れられた彼女が、満を持して発表した今回の作品。そしてその作品に向けられた注目と期待は、当初から過去のシェルショーにはない大きなものでした。

また、サニベル大会開催に発表を合わせて、後世に現代セーラーズバレンタインを紹介するべく出版された業界待望の書籍「*Contemporary Sailors' Valentine*」の存在によるものでもありました。



Contemporary Sailors' Valentine
(コンテンポラリー セーラーズバレンタイン)

厳選された 18 名の偉大な作家とその代表作を資料文献として紹介するその中に、最年少の唯一のアジア人として飯室はつえの人物と作品が選考されたのです。それはとても驚くべきことでした。

そんなタイミングでの大会の厳選な審査の結果は、
飯室はつえの今大会へのエントリー 3 作品

●Single Sailors' Valentine 部門の 22inch 「Oriental Breeze」

●Miscellaneous 部門の 「Mirage Window」

●Medium Single Sailors' Valentine 部門 「Mandara ～Never Ending～」

の 3 作品全てがエントリー各部門の**第 1 位**に輝くという素晴らしい結果でした。

今大会には他の大会の様に様々な賞は用意されておらず、たった 2 つの賞だけが発表されました。それは全てのエントリー作品の中から 2 人の審査員がそれぞれ最も優れた作品として 2 つの大会最優秀賞を選ぶという初めての形でした。

そして発表された 2 つの作品の、なんとそのどちらもが飯室はつえの作品が独占、2 大会連続で頂点を極めるという結果だったのです。

それはここ数年で円熟した飯室独自の曼荼羅をデザインのベースに展開するオリエンタルスタイルがアメリカの厳格な伝統芸術の大会に於いて、遂に世界一の評価を得た歴史的な瞬間でした。大会関係者、審査員、観客からの称賛はどれも「AMAZING!!」という言葉でした。

更に会場では、こちらも彼女にしか作りえない万華鏡の構造を持つスタイルのエントリー作品、「Mirage Window」の誰も見たこともない幻想的な世界が人々に驚きと感動を与えていました。

大会終了後には 10 数名ものアメリカ人アーティスト達からの飯室はつえからその技術と「オリエンタルセーラーズバレンタイン」という独自の感性の世界の直接指導を熱く求められ、その声に答え、ついに「アメリカ国内での教室開催」が計画されるに至ったのです。



飯室 はつえ (Hatsue Imuro)

Single Sailors' Valentine
(シングルセーラーズバレンタイン部門)

審査員特別賞
Blue Ribbon(第1位)

「Oriental Breeze」
(オリエンタル ブリーズ)



飯室 はつえ (Hatsue Imuro)

Miscellaneous(オブジェ部門)

審査員特別賞
Blue Ribbon(第1位)

「Mirage Window」
(ミラージュ ウィンドウ)



飯室 はつえ (Hatsue Imuro)

Medium Single Sailors' Valentine
(ミディアムシングルセーラーズバレンタイン部門)

Blue Ribbon(第1位)

「Mandara ~Never Ending~」
(マンダラ~ネバーエンディング~)

同行スタッフは、飯室はつえが4年前に単身でエントリーした頃には考えられなかった、様々な暖かい歓迎ぶりを受け、「日本人のセーラーズバレンタイン」の存在とそのレベルの高さがやっと本場アメリカ人に認められたと言う事を実感しました。

普通の主婦が世界的一のアーティストと同じ日本人としてなんと痛快なことでしょう！

日本とアメリカの互いの伝統を意識しながらの技術交流のキャッチボール。今回の飯室はつえの活躍には日本からの熱い応援とサポートが実を結び、大変有意義な実り多いケープコッドシェルショーとなりました。



審査員2名とチェアマンの Ms Sandy Moran と

今回の師の偉業を知った日本の生徒達も、現在来年のサニベルシェルショー第80回記念大会への参加出展を目指し制作準備を始めております。

また、その記念大会と彼女らの活動に足並みを合わせるべくこの秋日本の出版社からは初の待望のセーラーズバレンタインの書籍「セーラーズバレンタイン、飯室はつえ魅惑の貝殻アートの世界、」(仮称)が出版、全国の図書館、書店は勿論、フロリダの大会会場にも並べられることになりました。

去る7月には国内では一昨年の銀座展、昨年の青山展に続き、**2016年度も青山のギャラリー「プロモ・アルテ プロジェクト・ギャラリー」での生徒達の作品展**も開催されました。制作者、愛好家と教室の数も更に増え関西へも広がりつつあります。既存の手芸やクラフトに満足できない貝好きアート女性達の創作活動は海を渡り弾けます。

メセナ協会様はじめ皆様のおかげで大変すばらしい結果を出せました。誠にありがとうございます。このような活動が山梨から世界へ向けて展開されているという事を山梨の皆様へも周知いただき、更にはご参加いただけますよう、今後も努力していきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

「日本セーラーズバレンタイン協会」 事務局広報

<http://www.japan-sva.com/>

jstva.shell@gmail.com

080-5869-8673 (飯室)
